

News Release

2014年10月2日

曙ブレーキ、欧州新会社の土地購入仮契約を締結

曙ブレーキ工業株式会社(代表取締役社長:信元久隆 本店:東京都中央区 本社:埼玉県羽生市、以下 akebono)は、欧州におけるファウンデーションブレーキ(ブレーキキャリパーなど機構部品)研究開発センター子会社(Akebono Engineering Center, Europe S.A.S.)を2013年8月に設立し、開設のための準備を進めてきましたが、2014年10月1日にランスメトロポール(フランスのランス市を中心とした広域行政体)との土地購入仮契約書に署名しました。

署名式は購入予定地があるベザンヌ市(ランス市近郊)の市役所で行われ、シャンパーニュ・アルデンヌ地方議会のジャン＝ポール・バシー議長、ベザンヌ市のジャン＝ピエール・ベルフィ市長、当社からは代表取締役社長の信元久隆が出席しました。

現在、当社にはフランスのゴネス市にブレーキ摩擦材研究開発拠点、アラス市に摩擦材生産拠点がありますが、これに加え、2014年4月にスロバキアのトレンチーン市にブレーキキャリパー生産拠点、そして今回、ベザンヌ市にブレーキの機構研究開発センターを新設することにより、欧州のファウンデーションブレーキビジネスへの本格参入を目指します。

これは現在展開している新中期経営計画「akebono New Frontier 30-2013」の重点施策のひとつである「日米中心から日米欧アジアへのグローバル化の加速」に基づいた取り組みになります。研究開発から生産供給までの体制を構築することより、欧州における総合的なブレーキメーカーとしての地位を確立し、本格的にビジネス拡大を図るとともに、日米欧アジア4極での開発グローバルネットワークをさらに強化し、欧州およびグローバルでの競争力強化につなげていきます。

子会社の概要

- (1) 名称 : Akebono Engineering Center, Europe S.A.S.
- (2) 所在地 : フランス シャンパーニュ・アルデンヌ地方 ベザンヌ市(首都パリ北東 約125 km)
- (3) 代表者 : 工藤 高(当社 取締役専務執行役員)
- (4) 事業内容 : ファウンデーションブレーキの研究・開発
- (5) 設立 : 2013年8月28日
- (6) 出資比率 : 曙ブレーキ工業株式会社 100%
- (7) 敷地面積 : 約20,000 m²

仮契約の概要

- (1) 購入者 : Akebono Engineering Center, Europe S.A.S.
- (2) 販売者 : ランスメトロポール < Reims Métropole > (ランス市を中心とした広域行政体)
- (3) 購入予定地 : ベザンヌ < Bezannes > 市 (ランス < Reims > 市近郊)
- (4) 購入予定地面積 : 約 20,000 m²
- (5) 購入目的 : 欧州ファウンデーションブレーキ開発拠点設立

以上



署名式の様子